

# 都市整備部

(単位：円)

農大跡地周辺まちづくり特命担当		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	01	都市計画総務費
政策 3	快適に暮らせるまち	事業名		農業大学校跡地活用事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
5,050,000	3,076,166	0	1,973,834	60.9%	—		
1 事業目的	<p>埼玉県との動向に合わせて、埼玉県農業大学校跡地における都市計画（用途地域、準防火地域及び地区計画）の変更に向けた準備を行うとともに、関係機関との連絡調整を行う。</p>						
2 事業内容	<p>(1) 都市計画（用途地域、準防火地域及び地区計画）の変更</p> <p>ア 埼玉県との調整及び地元住民や環境団体との意見交換 都市計画を検討するに当たって、関係機関との意見交換等を継続して実施した。</p> <p>イ 都市計画の変更に係る図書の作成 都市計画の変更手続きに必要な図書について、業務委託により作成した。</p> <p>(2) 埼玉県等の関係機関との調整</p> <p>ア 環境影響評価 埼玉県が実施する環境影響評価について、図書の縦覧や説明会の実施等について協力した。 市では、説明会や環境団体との意見交換に出席し、環境影響評価の円滑な実施に努めた。</p> <p>イ 土地区画整理事業による公共施設整備 土地区画整理事業によって創出される公共施設（道路、公園等）の整備概要と費用負担について、埼玉県との協議を継続して実施した。</p> <p>ウ 圏央鶴ヶ島インターチェンジの整備促進 圏央鶴ヶ島インターチェンジの整備に向けて、主に国との協議を継続して実施した。</p>						
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市計画の変更については、用途地域、準防火地域及び地区計画の原案を作成し、都市計画法第16条の規定に基づく閲覧まで手続きを進めた。</li> <li>土地区画整理事業による公共施設の整備概要と費用負担について、埼玉県と協定書を締結するとともに、圏央鶴ヶ島インターチェンジの整備について、一定の方向性を得た。</li> </ul>						

(単位：円)

都市計画課		一般会計														
		款		項		目		決算書頁								
		05	労働費	01	労働諸費	01	労働諸費	112~113								
政策2	活力に満ちたまち	事業名		企業立地雇用等促進奨励事業												
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率											
4,900,000	4,900,000	0	0	100.0%	—											
1	事業目的	<p>市内で一定規模以上の事業所の新設を行う企業及びその従業員に対して奨励措置を講じ、企業の進出を促すとともに、市民の雇用機会の拡大や定住の促進を図る。</p>														
2	事業内容	<p>(1) 奨励金交付対象</p> <p>ア 市内在住者雇用奨励金 指定企業であり、市内に住所を有する者を従業員として1年以上雇用した企業</p> <p>イ 従業員転入促進奨励金 指定企業であり、市外に住所を有する従業員が市内に転入し、1年以上居住した企業</p> <p>ウ 従業員持家取得促進奨励金 指定企業の従業員のうち、市内に持家を取得した者</p> <p>(2) 奨励金交付額</p> <table border="0"> <tr> <td>ア 市内在住者雇用奨励金</td> <td>1件あたり30万円</td> <td>13件</td> </tr> <tr> <td>イ 従業員転入促進奨励金</td> <td>1件あたり30万円</td> <td>0件</td> </tr> <tr> <td>ウ 従業員持家取得促進奨励金</td> <td>1件あたり50万円</td> <td>2件</td> </tr> </table>						ア 市内在住者雇用奨励金	1件あたり30万円	13件	イ 従業員転入促進奨励金	1件あたり30万円	0件	ウ 従業員持家取得促進奨励金	1件あたり50万円	2件
ア 市内在住者雇用奨励金	1件あたり30万円	13件														
イ 従業員転入促進奨励金	1件あたり30万円	0件														
ウ 従業員持家取得促進奨励金	1件あたり50万円	2件														
3	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度は、13件の市民雇用と、2件の持家取得に係る交付があり、市民の雇用機会の拡大と、定住の促進につながった。</li> <li>各種会議や企業立地イベント等において、パンフレットを配布することにより、奨励制度をPRすることができた。</li> </ul>														

(単位：円)

都市計画課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	02	交通政策費
政策3	快適に暮らせるまち		事業名		市内公共交通運行事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
69,321,000	67,625,743	0	1,695,257	97.6%	—		
1	事業目的	<p>高齢者、障害者、交通手段を持たない方など、いわゆる交通弱者の市内の移動手段を確保するほか、通勤や通学、買い物などにも利用できる市内公共交通機関を確保する。</p>					
2	事業内容	<p>(1) 民間バス事業者及び民間タクシー事業者との運行協定の締結          収支に損失が生じた場合、運行協定に基づき、事業者に対して損失の補償を行った。          ア バス運行事業者 1社          イ タクシー会社 5社</p> <p>(2) つるバス・つるワゴンの運行及び利用状況          定期運行によるバス1路線(バス2台)、ワゴン6路線(ワゴン6台)が、年末年始(12月29日～1月3日)を除く359日間、運行された。          ア つるバス利用者数 182,341人          イ つるワゴン利用者数 115,877人          ウ 合計 298,218人</p>					
3	成果	<p>・利用促進のため、広報への記事の連載や、マイ時刻表の作成などを行うことにより、つるバス・つるワゴンともに平成28年度の利用者数を上回ることができた。</p>					

(単位：円)

都市計画課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	04	住宅費	01	住宅管理費	130～131
政策3	快適に暮らせるまち		事業名		空き家等対策推進事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
94,000	55,280	0	38,720	58.8%	—			
1	事業目的	適切な管理が行われていない空き家等が防犯、防災、衛生、景観等の観点から、地域住民の住環境に深刻な影響を及ぼしていることに鑑み、市民の生命、身体又は財産を保護するとともに、その住環境の保全を図り、あわせて空き家等の活用を促進する。						
2	事業内容	<p>(1) 空き家問題の啓発 空き家問題の啓発リーフレットを作成し、固定資産税納税通知書に同封して通知することで、効果的に空き家問題を啓発した。</p> <p>(2) 空き家所有者アンケート調査 前年度に実施した空き家等実態調査の結果に基づき、空き家の適正な管理や利活用、空き家等対策計画の策定などのために必要となる、総合的な空き家等対策の基礎資料を収集することを目的にアンケート調査を実施した。 空き家所有者アンケート調査 164件（法人所有等除く）</p> <p>(3) 空き家相談窓口業務 空き家についての苦情など適正に管理できていない建物に対し是正指導を行うことその他、空き家所有者などからの売却や利活用、相続、租税措置など空き家に関する全般の相談を受けることで、空き家の適正な管理に繋がった。</p> <p>(4) 空き家バンク制度の活用促進 相談窓口などのあらゆる機会を捉え制度周知に努め、不動産としての流通を図った。</p>						
3	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 空き家所有者アンケート調査を通じて、空き家の適正な管理や利活用、空き家等対策計画の策定などのために必要となる、総合的な空き家等対策の基礎資料を得ることができた。</li> <li>・ 納税通知書への啓発リーフレットの同封や相談窓口によって、空き家問題を効果的に啓発することができた。こうした取り組みの結果、鶴ヶ島市空き家バンク制度について、新規2件の活用があった。</li> </ul>						

(単位：円)

道路建設課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	02	道路橋りょう費	03	道路新設改良費
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		道水路整備事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
33,953,000	31,684,356	0	2,268,644	93.3%	—		
1 事業目的	道路交通の安全性を確保するため、道路の拡幅整備を実施する。						
2 事業内容	<p>市道7-2号線の整備に伴う用地取得及び物件補償、市道9-2号線の整備に伴う物件補償及び工事、市道167号線の路線測量を行った。</p> <p>(1) 市道7-2号線  ア 土地鑑定評価業務 一式  イ 用地取得 178.51㎡  ウ 物件補償(工作物移転料、立竹木補償等) 1件</p> <p>(2) 市道9-2号線  ア 物件補償(工作物移転料、立竹木補償等) 1件  イ 道路改築工事  延長：108.3m、幅員：4.5m  側溝 157m、舗装 416㎡他</p> <p>(3) 市道167号線  路線測量業務 一式</p>						
3 成果	・道路交通の安全性が、工事により確保できた。						

(単位：円)

道路建設課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	02	道路橋りょう費	03	道路新設改良費
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		一本松地区地区計画住環境整備事業			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
293,327,000	176,230,199	101,040,000	16,056,801	60.1%	91.6%		
1	事業目的	地区計画で定められた地区施設道路等の整備を行うことにより、地区環境の充実を図る。					
2	事業内容	<p>一本松地区地区計画区域の良好な居住環境の形成を図るため、用地取得及び道路整備等を実施した。</p> <p>(1) 用地取得 進捗率：新設道路94.3%、拡幅道路100% 歩行者専用道路100% 私道(位置指定道路)65.2%、後退用地82.1%</p> <p>ア 公園予定地：1,682.45㎡ イ 市道83-1号線：11㎡ ウ 私道(位置指定道路)寄附：6か所 エ 後退用地寄附：36筆</p> <p>(2) 道路整備等 進捗率：新設道路80.5%、拡幅道路94.9% 歩行者専用道路0% 現道を活かした道路(私道)40.5% 現道を活かした道路(市道)54.2%</p> <p>ア 道路改築工事 市道74号線外3(大字中新田地内) 延長：159.1m、幅員：4.0m～6.2m 側溝 301m、舗装 691㎡</p> <p>イ 道路改築・下水道工事 市道1315号線外3(大字下新田地内) 道路改築 延長：306.2m、幅員：4.0m～4.8m 側溝 54m、舗装 1,030㎡ 管路(雨水) 延長：93.9m、管布設 92m、マンホール 3か所</p> <p>ウ 道路改築工事 認定外道路A①(大字下新田地内) 延長：142.2m、幅員：4.2m 側溝 282m、舗装 461㎡</p> <p>エ 道路改築工事 認定外道路E③外2(大字中新田地内) 延長：97.9m、幅員：2.0m～4.2m 側溝 161m、舗装 273㎡</p> <p>オ 道路改築・下水道工事 市道85号線外2(大字下新田地内) 道路改築 延長：223.6m、幅員：4.0m～6.0m 側溝 346m、舗装 1,010㎡ 管路(雨水) 延長：167.2m、管布設 161m、マンホール 7か所</p> <p>カ 雨水管実施設計業務(大字下新田地内) 管路施設実施設計(新設・詳細設計) 一式</p>					
3	成果	・地区計画で定められた地区施設道路等が確保され、良好な居住環境の形成が図られた。					

(単位：円)

道路建設課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	02	道路橋りょう費	03	道路新設改良費
政策3	快適に暮らせるまち		事業名		上広谷第1地区地区計画住環境整備事業		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
4,788,000	3,996,000	0	792,000	83.5%	—		
1	事業目的						
<p>地区計画で定められた地区施設道路等の整備を行うことにより、地区環境の充実を図る。</p>							
2	事業内容						
<p>上広谷第1地区地区計画区域の良好な居住環境の形成を図るため、舗装新設工事を実施した。</p> <p>(1) 市道1329号線外2路線  ア 舗装新設工事  延長：217.3m、幅員：2.8～6.0m  舗装 873㎡</p>							
3	成果						
<ul style="list-style-type: none"> <li>地区計画で定められた地区施設道路等が確保され、良好な居住環境の形成が図られた。</li> </ul>							



(単位：円)

道路建設課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	02	道路橋りょう費	03	道路新設改良費	124~125
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		都市計画道路整備事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
145,847,000	49,324,641	90,156,000	6,366,359	33.8%	88.6%			
1 事業目的	<p>埼玉県農業大学校移転後の跡地及びその周辺地域を活用し、企業集積並びに「賑わい」と「憩い」の交流拠点を整備するため、周辺道路（都市計画道路川越鶴ヶ島線（市道1015-2号線・市道1015-1号線）及び都市計画道路鶴ヶ島南通り線（市道927-2号線））の整備を実施する。</p>							
2 事業内容	<p>都市計画道路川越鶴ヶ島線（市道1015-2号線・市道1015-1号線）及び都市計画道路鶴ヶ島南通り線（市道927-2号線）の道路整備に伴う道路予備設計、用地取得及び物件補償を行った。</p> <p>(1) 市道1015-2号線外1路線</p> <p>ア 道路予備設計業務 一式</p> <p>イ 土地鑑定評価業務及び変動率調査業務 一式</p> <p>ウ 用地交渉業務 4件</p> <p>エ 用地取得 2,801.73㎡</p> <p>オ 物件補償（工作物移転料、立竹木補償等） 1件</p> <p>(2) 市道927-2号線</p> <p>ア 道路予備設計業務 一式</p> <p>イ 土地鑑定評価業務及び変動率調査業務 一式</p> <p>ウ 用地交渉業務 4件</p> <p>エ 用地取得 1,445.92㎡</p> <p>オ 物件補償（工作物移転料、立竹木補償等） 1件</p>							
3 成果	<p>・用地について、全体面積17,910.63㎡のうち4,247.65㎡を買収し、合計買収面積は15,949.72㎡となった。買収率では全体ベースで89.05%となり前年より23.71%増加し事業の推進を図った。</p>							

(単位：円)

道路建設課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	02	道路橋りょう費	03	道路新設改良費
政策3	快適に暮らせるまち		事業名		一本松地区地区計画住環境整備事業（繰越明許費分）		
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
4,668,000	3,875,405		792,595	83.0%	—		
1 事業目的	<p>地区計画で定められた地区施設道路等の整備を行うことにより、地区環境の充実を図る。</p>						
2 事業内容	<p>一本松地区地区計画区域の良好な居住環境の形成を図るため、道路整備に伴う電柱移設を実施した。</p> <p>(1) 電柱移設 19本</p>						
3 成果	<p>・地区計画で定められた地区施設道路等が確保され、良好な居住環境の形成が図られた。</p>						

(単位：円)

区画整理課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	03	土地区画整理費	128～129
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		一本松土地区画整理事業特別会計繰出金				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
383,497,000	383,497,000	0	0	100.0%	—			
1 事業目的	区画整理によって、一本松地区の良質な市街地の形成及び住環境の整備改善を図る。							
2 事業内容	一本松土地区画整理事業特別会計に対する一般会計からの繰出金。							
3 成果	平成29年度事業成果及び事業進捗 ・仮換地指定状況 約403㎡ (進捗率88.9%) ・保留地処分状況 約20㎡ (進捗率63.2%) ・道路整備状況 約731m (進捗率81.9%) ・建物移転状況 5戸 (進捗率97.2%)							

(単位：円)

区画整理課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	03	土地区画整理費
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		若葉駅西口土地区画整理事業特別会計繰出金			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
106,232,000	106,232,000	0	0	100.0%	—		
1 事業目的	区画整理によって、若葉駅西口地区の無秩序な住宅地開発を未然に防止し、駅前交通広場、道路、公園等の公共施設の整備改善を行うことにより、良好な居住環境を有した健全な市街地の形成を図る。						
2 事業内容	若葉駅西口土地区画整理事業特別会計に対する一般会計からの繰出金。						
3 成果	平成29年度事業成果及び事業進捗 ・仮換地指定状況 約779㎡ (進捗率94.4%) ・保留地処分状況 約523㎡ (進捗率36.2%) ・道路整備状況 約411m (進捗率89.7%) ・建物移転状況 3戸 (進捗率86.6%)						

(単位：円)

都市施設保全課		一般会計													
		款		項		目		決算書頁							
		08	土木費	02	道路橋りょう費	04	交通安全対策費	124～125							
政策3	快適に暮らせるまち		事業名		道路交通環境安全対策事業										
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率										
25,635,000	24,846,298	0	788,702	96.9%	—										
1 事業目的	道路照明灯を蛍光灯からLED灯に交換し、照明の長寿命化と必要経費の削減を図り、交通環境の向上及び防犯対策の確保に努める。														
2 事業内容	<p>関越自動車道及び首都圏中央連絡自動車道等に30か所あるボックス内の照明灯を全てLED灯に交換した。</p> <table> <tr> <td>交換か所数</td> <td>30か所</td> </tr> <tr> <td>照明器具(LED灯) 20W1灯用設置</td> <td>107基</td> </tr> <tr> <td>照明器具(LED灯) 40W1灯用設置</td> <td>80基</td> </tr> <tr> <td>既存照明器具撤去</td> <td>187基</td> </tr> </table>							交換か所数	30か所	照明器具(LED灯) 20W1灯用設置	107基	照明器具(LED灯) 40W1灯用設置	80基	既存照明器具撤去	187基
交換か所数	30か所														
照明器具(LED灯) 20W1灯用設置	107基														
照明器具(LED灯) 40W1灯用設置	80基														
既存照明器具撤去	187基														
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・照明灯の長寿命化と省エネルギー化を図ることができた。</li> <li>・閉鎖空間の照度を確保し、通行上の安全対策を講じることができた。</li> <li>・電気料金の削減と照明灯器具交換等のコスト削減に資することができた。</li> </ul>														

(単位：円)

都市施設保全課		一般会計						
		款		項		目		決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	05	公園費	130～131
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		近隣公園施設修繕事業				
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率			
9,200,000	8,748,000	0	452,000	95.1%	—			
1 事業目的	<p>市内3つの近隣公園は開園から30年以上を経過し、トイレの老朽化が進んでいる。そのため、富士見中央近隣公園のトイレ設備を修繕し、市民の快適な公園利用と機能の向上を図る。</p>							
2 事業内容	<p>富士見中央近隣公園のトイレの排水管の詰り解消、便器の修繕及び再設置を行った。</p> <p>富士見中央近隣公園トイレ修繕工事  (1) 男子トイレ修繕工事 和便器1⇒洋便器1、小便器3⇒2（再設置）  (2) 女子トイレ修繕工事 和便器2⇒洋便器2  (3) 多目的トイレ修繕工事 洋便器1（再設置）  (4) 給排水工事</p>							
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいたトイレ施設のリニューアル化を図ることができた。</li> <li>・洋式便器への更新により、機能の向上、快適な公園利用に資することができた。</li> <li>・頻繁に発生していた配管詰りが解消された。</li> </ul>							

(単位：円)

都市施設保全課		一般会計					
		款		項		目	決算書頁
		08	土木費	03	都市計画費	05	公園費
政策3	快適に暮らせるまち	事業名		近隣公園施設修繕事業（繰越明許費分）			
予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額	執行率	繰越除く執行率		
5,184,000	5,184,000		0	100.0%	—		
1 事業目的	<p>市内3つの近隣公園は開園から30年以上を経過し、トイレの老朽化が進んでいる。そのため、南近隣公園のトイレ設備を修繕し、市民の快適な公園利用と機能の向上を図る。（平成28年度からの繰越明許）</p>						
2 事業内容	<p>南近隣公園のトイレの排水管の詰り解消、便器の修繕及び再設置、施設の復旧及び塗装工事を行った。</p> <p>南近隣公園トイレ修繕工事  (1) 男子トイレ修繕工事      和便器1⇒洋便器1 小便器3（再設置）  (2) 女子トイレ修繕工事      和便器2⇒洋便器1、和便器1  (3) 給排水工事  (4) 床・壁復旧工事  (5) 塗装工事</p>						
3 成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいたトイレ施設のリニューアル化を図ることができた。</li> <li>・洋式便器への更新により、機能の向上、快適な公園利用に資することができた。</li> <li>・頻繁に発生していた配管詰りが解消された。</li> </ul>						